

令和7年度 姉妹都市ロイテ市・ブライテンヴァング市 青少年交換交流事業報告書



期 間 【受入】 令和7年8月4日（月）～12日（火）
【派遣】 令和7年8月19日（火）～28日（木）



奥州市姉妹都市交流実行委員会

目 次

1	派遣生名簿	1
2	受入日程表	2
3	派遣日程表	3
4	受け入れの思い出（8／4～11）	4
5	派遣の思い出（8／19～28）	12
6	派遣生感想文	22
7	引率者報告書（受入）	34
8	引率者報告書（派遣）	39

派遣生名簿

1 奥州市

氏名	性別	年齢	所属
川下 真央 (かわした まお)	女	17	前沢高等学校 3年
切田 慶佳 (きりた きょうか)	女	16	水沢高等学校 2年
丹内 怜 (たんない れい)	男	16	水沢高等学校 2年
及川 千歳 (おいかわ ちとせ)	女	16	水沢高等学校 2年
小野寺 暖花 (おのでら のどか)	女	16	水沢高等学校 2年
本宮 孝太郎 (もとみや こうたろう)	男	16	水沢高等学校 2年
佐藤 恵美香 (さとう えみか)	女	-	健康こども部健康増進課
高橋 龍太郎 (たかはし りゅうたろう)	男	-	財務部財政課

※年齢は8月4日時点

2 ロイテ市・ブライテンヴァング市

氏名	性別	年齢	住所
ビンセント・エンゲルハード	男	14	ロイテ
ユリアナ・ヒュター	女	15	ロイテ
ローニャ・ミッターメア	女	17	ロイテ
レオニー・グルベルニック	女	15	ブライテンヴァング
ラウラ・グルベルニック	女	18	ブライテンヴァング
アントニア・カタリナ・ヴァーレ	女	20	ブライテンヴァング

※年齢は8月4日時点

受入日程表（8／4～12）

日次	月日 (曜)	時間	行程	備考	宿泊場所
1	8／4 (月)	08:00 11:36 14:22 14:30 15:15	羽田空港着 東京駅発 水沢江刺駅着 対面式 解散	到着ゲートにてロ・ブ市派遣生と対面 新幹線にて水沢江刺駅へ移動 ロ・ブ市派遣生と奥州市派遣生・ホストファミリーとの顔合わせ	ホームステイ
2	8／5 (火)	09:00 10:00 11:30 12:30 14:00 17:15	市役所本庁集合 プランゼージャパン(株)訪問 昼食 えさし藤原の郷で各種体験 市民交流会 帰庁・解散	工場見学、クイズ等 えさし藤原の郷レストハウス 弓矢体験、鯉のエサやり等 七夕飾り作り、江刺甚句踊り等	ホームステイ
3	8／6 (水)	08:30 09:00 10:00 12:00 14:00 16:40	市役所本庁集合 市長・副市長表敬 水沢農業高校生徒交流会 昼食 座禅体験 農家民泊体験	倉成市長、小野寺副市長と面会 農場見学、野菜収穫体験、ピザ作り 交流会で自作したピザやスムージー等 黒石寺で座禅体験と仏像見学 ロ・ブ市派遣生は農家民宿に宿泊	農家民宿
4	8／7 (木)	08:45 09:20 10:30 12:30 14:30 16:00 17:55	市役所本庁集合 農家民宿発 盛岡市内 昼食 盛岡駅 盛岡市内散策 帰庁・解散	奥州市派遣生 ロ・ブ市派遣生 ショッピングモールで買い物等 ショッピングモール内のフードコート 買い物等 盛岡城跡公園、紺屋町等	ホームステイ
5	8／8 (金)	09:00 09:45 12:40 13:40 17:30	市役所本庁集合 中尊寺見学 昼食 海水浴 帰庁・解散	讚衡蔵や金色堂を見学 道の駅高田松原 高田松原海水浴場で海水浴等	ホームステイ
6	8／9 (土)	終日	ホストファミリーと過ごす		ホームステイ
7	8／10 (日)	終日	ホストファミリーと過ごす		ホームステイ
8	8／11 (月)	07:45 08:00 10:14	水沢江刺駅集合 水沢江刺駅発 東京駅着、東京観光	ホストファミリーとお別れ 新幹線にて東京駅へ移動 浅草寺、東京スカイツリー等	都内ホテル
9	8／12 (火)	07:20 07:30 09:30	ホテル発 羽田空港着 羽田空港発	シャトルバスにて空港へ移動 搭乗出国手続き ロ・ブ市派遣生出国	

派遣日程表（8／19～28）

日次	月日(曜)	現地時間	行程	備考
1	8／19 (火)	12:39 15:24 15:48 16:42	水沢江刺駅発 東京駅着 東京駅発 宿泊ホテル最寄り駅着 羽田空港周辺泊	新幹線にて東京駅へ JR・私鉄等にてホテル最寄り駅へ 夕食をとり羽田空港周辺のホテルに宿泊
2	8／20 (水)	06:30 07:01 10:00 16:30 17:10 19:50	ホテル発 羽田空港着 羽田空港発 ミュンヘン空港着 ミュンヘン空港発 ロ・ブ市着	ホテルにて朝食 搭乗出国手続き ルフトハンザ航空にてミュンヘン空港へ 入国手続き、ロ・ブ市派遣生・ホストファミリーと合流 ホストファミリーの車等にてロ・ブ市へ
3	8／21 (木)	終日	ロイテ市・ブライテンヴァング市に滞在	午前：プランゼー本社見学 午後：エーレンベルク城址、ハイライン 179
4	8／22 (金)	終日	ロイテ市・ブライテンヴァング市に滞在	午前：ノイシュヴァンシュタイン城（ドイツ）見学 午後：フュッセン（ドイツ）の街を散策
5	8／23 (土)	終日	ロイテ市・ブライテンヴァング市に滞在	ホストファミリーと過ごす
6	8／24 (日)	終日	ロイテ市・ブライテンヴァング市に滞在	午前：ホストファミリーと過ごす 午後：ロ・ブ市主催の歓迎会に出席
7	8／25 (月)	10:00 11:50 15:50 18:50 19:50	ロ・ブ市発 インスブルック着 インスブルック空港着 インスブルック空港発 ウィーン空港着 ウィーン泊	インスブルック観光 搭乗手続き オーストリア航空にてウィーン空港へ 夕食をとりウィーン市内のホテルに宿泊
8	8／26 (火)	09:00 09:30 10:40 14:55 15:05 16:20	ホテル発 シェーンブルン宮殿着 ウィーン市内散策 日本国大使館着 日本国大使館表敬訪問 日本国大使館発 ウィーン泊	ホテルにて朝食 観光ガイドの案内により宮殿内部を見学 観光ガイドの案内により旧市街地を散策 岩間公典大使等と面会 夕食をとりウィーン市内のホテルに宿泊
9	8／27 (水)	09:30 10:00 13:30	ホテル発 ウィーン空港着 ウィーン空港発	ホテルにて朝食 搭乗出国手続き オーストリア航空にて成田空港へ
10	8／28 (木)	08:40 10:45 11:44 12:36 15:22	成田空港着 成田空港発 東京駅着 東京駅発 水沢江刺駅着	入国手続き 成田エクスプレスにて東京駅へ 新幹線にて水沢江刺駅へ 解散

受け入れの思い出

【8/4~11】

令和7年8月4日（月）

主な日程：ロ・ブ市派遣生と対面

執筆担当：切田 慶佳

この日は待ちに待った対面式。駅に向かう車の中では、やっと会うことのできる嬉しさと、上手くコミュニケーションを取ることができるかの不安で胸がいっぱいでした。

私たちは、ロイテ市・ブライテンヴァング市の旗を手に持ち、家族と市役所の方々と共に改札の前でオーストリアの学生たちを迎え入れました。初めて会った印象は、わたしが思っていたよりもみんな背が高くて、とてもかっこよく見えました。それぞれが事前に SNS で連絡をとっていたこともあり、実際に会ってみて、私たちはどの子が自分のホストフレンドなのかドキドキしながら自己紹介をし合いました。実際にみんなを目の前にして、やっとこの交換交流事業に参加している実感が湧いてきました。

わたしのホストフレンドのラウラは、一歳年上とは思えないほど大人っぽく見えて、実際に会話をして英語の発音がとても流暢で驚きました。これから始まる特別な日々を胸を躍らせながら、日本で過ごすみんなとの一日一日を大切に過ごそうと思いました。



令和7年8月5日（火）

主な日程：プランゼー社訪問、市民交流会

執筆担当：丹内 怜

プランゼー社への訪問では、最初にプランゼーと市の関わりの歴史についてのビデオを視聴し、その後、社内の工場を見学、奥州市とロイテ市、ブライテンヴァング市に関するクイズを行いました。メインである工場見学では、重金属のタングステンやモリブデンの加工や、最新のAIを活用した流れ作業を見学することができました。タングステンを、酸素バーナーを用いて加熱し、折り曲げる作業を実演していただいたのが強く印象に残っています。

市民交流会では、江刺の方々と共に七夕に飾る短冊を書いたり、2023年に5分以上踊り続けた人数に関してギネス世界記録に登録された江刺甚句祭りで行われる扇子踊りを指導いただきながら踊ったりしました。参加者の中には未就学児からドイツ語や現地の文化に精通した方まで様々な人々があり、オーストリア人に日本の文化を伝えると共に自らの成長にも繋げられるような素晴らしい経験でした。同じテーブルに座っていたヴィンセントさんは学業成就を願っており、国が違えど高校生はみな同じだなと感じました。



令和7年8月6日（水）

主な日程：市長・副市長表敬、水農生徒交流会、黒石寺

執筆担当：及川 千歳

今日は市長、副市長に挨拶をしてホストフレンドのローニャがロイテ・ブライテンヴァング市の親書を読んでいた。また、オーストリア派遣生が風鈴や箸置きなどのお土産をもらっていた。

次に水沢農業高校へ行き、みんなでジェスチャーゲームをしたり、班に分かれて敷地内の探索をしたりした。農業高校ならではの広い敷地に牛や畑、たくさんの大きい農業機械など、初めて見るものも多く、派遣生と説明を聞きながら敷地を回った。その後、野菜の収穫体験をさせてもらい、お昼にはスムージーとピザを作った。好きな具材を選んでそれぞれのピザを作ったが、みんなの個性が出ていてとても面白かった。どれも美味しかったし、水農の生徒さんが手厚く歓迎してくれてとても楽しい時間だった。

午後は黒石寺へ行き座禅体験をした。日本人の私にとっても初めての体験だった。45分程度の短い時間の座禅だったけど、みんな足が疲れたり、集中力が切れて眠くなってきたりと思っていたより大変だった。しかし終わった後に確かな達成感があったし、普段は出来ない貴重な体験だった。



令和7年8月7日（木）

主な日程：盛岡市内で買い物、散策

執筆担当：本宮 孝太郎

今日は最初に盛岡南イオンを訪れた。盛岡までバスで移動する道中オーストリアの学生たちは昨日までの思い出について話を弾ませており、日本での生活を満喫してもらえているようで嬉しかった。目的地に到着し入店するといくつかのグループに分かれ各々の欲しいものを買に行った。私はヴィンセントと一緒に行動し、初めに靴屋さんを訪れた。彼は買いたかった靴があったようで、いろいろと吟味をした後に購入した靴が気に入るとも満足していた。その後、私たちはパン屋さんに立ち寄りメロンパンを食べた。「おいしい？」と聞くと笑顔で「うん！」と答えてくれてこっちまで笑顔になれた。お昼はみんなフードコートに集まりうどんやカレーなどを食べた。午後からは盛岡市内を散策する予定だったが、不運にも雨が降り出してしまい、急遽盛岡駅へ訪れることとなった。駅構内にはお土産屋さんなどのお店がたくさんあり、盛岡南イオンとはまた一風変わった場所でのショッピングを楽しんでいた。夕方になると雨も上がり、当初の予定だった盛岡市内を散策することになった。初めに盛岡城跡公園を訪れ付近の神社へお参りに行き、それから街中を見て回った。

夜は近所で行われていた七夕まつりに行き出店や数日前にみんなで作った七夕飾りを見たり、花火をしたりして楽しんだ。

色んな場所を訪れ充実した一日を過ごせたと思う。



令和7年8月8日（金）

主な日程：中尊寺、海水浴

執筆担当：川下 真央

中尊寺では、金色堂はもちろん、讃衡蔵も見学し、多くの国宝を見ることができました。ユリアナは「首を入れる桶のような展示物」に私と同じように興味を示していました。一方で、メインの金色堂には意外と反応が薄く、逆にお土産屋さんの招き猫などの置物に強い興味をもっていました。ロイテ・ブライテンヴァングの自然とは異なる、日本ならではの竹林の景色も楽しめていたと思います。

陸前高田市では、まず道の駅でそれぞれ昼食をとり、その後海に向かいました。このときも食事をしている人とそうでない人に分かれ、ユリアナはアイスだけを食べました。私のイメージでは外国の人は日本人よりたくさん食べるのかと思っていましたが、意外とみんな少食で、私たちよりずっと控えめだったので少し心配になるほどでした。

オーストリアには海がないこともあり、海では皆はしゃいでいて、海水浴をしたり貝殻を拾ったりとさまざまに楽しんでいました。その中で、陸前高田の水上アスレチックに日本人4人とローニャで挑戦しました。ちょうど誕生日だったローニャが一番はしゃいでいたので、私たちもとても嬉しい気持ちになり、自分たちにとっても貴重で素晴らしい体験になりました。



令和7年8月9日（土）

主な日程：ホストファミリーと過ごす日

執筆担当：本宮 孝太郎

今日は午前中に近所にあるお茶屋さんへアントニアとお土産を買いに行きました。アントニアの家族はお茶をよく飲み、特に抹茶や緑茶のような日本のお茶が好きなようで、お茶屋さんの品ぞろえに驚きつつも色々お土産を買っていました。喜んでもらえたみたいで良かったです。

午後からは家族全員とアントニアと、みんなで花巻温泉を訪れました。花巻温泉の地下会場には卓球台があり、ラケットを借りてみんなで卓球をして楽しみました。アントニアはオーストリアでよくテニスをするようで、その影響か卓球もすぐ上達していました。ほかにもマッサージの体験をしていたりと今までの旅の疲れを癒していました。夕食は肉や海鮮、サラダやデザートなど様々な種類の料理があり、各々好きなものをいろいろ選んで食べて至福の時間を過ごせました。夕食後はロビーで披露されていた生のさんさ踊りを鑑賞して、伝統文化に触れることができました。今までの旅の疲れを癒しつつ、日本食や郷土芸能を楽しんでもらえてよかったです。



令和7年8月10日（日）

主な日程：ホストファミリーと過ごす日

執筆担当：小野寺 暖花

今日は、ホストファミリーと過ごしました。私と慶佳さんは、部活の定期演奏会と被ってしまい、午前中は、レオニーとラウラと2家族で過ごしてもらいました。

まず、狛鼻溪に行ったそうです。船で川下りをしたり、狛鼻溪では有名な、石投げをしたりして楽しみました。次に丸亀製麺でお昼を食べました。うどんと天ぷらを完食したらしく、口に合ったようでよかったです。次にドン・キホーテで買い物をしました。レオニーやラウラがほしかった、日本語の書いたTシャツを買っていたようです。また、日本のお菓子も沢山買ったようです。

午後は、オーストリアの派遣生ほとんどが、わたしたちの定期演奏会を見に来てくれました。見に来てくれるとは思って無かったのでとても嬉しかったです！！あとから聞いたら、知っている曲は「テキーラ」だけだったそうです。ですが、楽しんでくれたみたいでよかったです！

その夜、奥州市で過ごすのは最後の日だったので、オーストリアと日本の派遣生で回転ずしを食べにいきました。店内がすごく混んで、2席が離れてしまったのですが、それぞれの席で友情を深めることが出来ました。オーストリアの派遣生も日本の派遣生と同じくらいの量を食べていたので、びっくりしました。みんなでお寿司を行けたのはとてもいい思い出になりました！！



令和7年8月11日（月）

主な日程：ロ・ブ市派遣生見送り

執筆担当：小野寺 暖花

今日は水沢江刺駅でお見送りの日でした。朝早くに集合だったので、レオニーは昨日のうちに荷造りを済ませていました。

ここ1週間、レオニーと私と母と3人で毎朝お茶を飲みながら、いろいろなお話をしていました。また、私は部活の予定と重なり、平日のプロジェクトにあまり参加することが出来なかったのが、毎朝の時間はとても楽しかったです。それも今日で終わりだと思えば、寂しい気持ちでいっぱいでした。駅へ向かう車の移動では、日本で何が1番楽しかったか質問してみました。レオニーはどれも楽しかったから選べない、と言ってきて、とても嬉しい気持ちになりました。また、オーストリアに来る際になにか不安なことはあるか、と気を遣ってくれました。そのおかげで行く時の不安が少し解消されました。

駅に着いて、レオニーと私と父と母で写真を撮りました。お別れが名残惜しかったけど私はまたすぐ会えると思えば、笑顔でお見送りしました。家に帰って、レオニーが帰ってしまって母が寂しそうでした。来週行くのが楽しみで、わくわくしています。



派遣の思い出

【8/19~28】

令和7年8月19日（火）

主な日程：国内移動

執筆担当：川下 真央

いよいよ出発の日が来て前日からワクワクする気持ちと、少し不安な気持ちが混じって不思議な感覚でした。水沢江刺駅に集合して、みんな同じ気持ちなのだろうなとみんなの表情を見て感じられました。新幹線では各々映画を見たり、寝たりと様々な過ごし方をしていましたが、楽しみな気持ちが強かったせいか案外あっという間の時間でした。

その後、都内を移動し「変なホテル」に向かいました。「変なホテル」はとても面白いホテルで、エントランスの受付案内が恐竜のロボットだったり、アンドロイドだったりホテルの中でも楽しむことができました。そして、羽田空港に向かい、円をユーロに両替しました。円以外のお金を持つことが初めてだったので両替自体も面白く感じられました。羽田空港内で夕食の予定だったのですが、空港ということもありどの飲食店も値段が高く、駅周辺に戻ってはま寿司を食べることになりました。オーストリアに行く前最後の日本の夕食がお寿司でみんな満足していたし、いろいろな話をするのができてとても良い時間になりました。ホテルに帰ってからは、女子四人で集まってホラー映画を見ました。途中から男子二人も加わって全員で見えていましたが、怖いまま寝たくなかったので、「ラーゲリより愛をこめて」を見て千歳ちゃん以外号泣してから少しの眠りにつきました。私と他の五人は高校が違い、最初は馴染めるか心配でしたが、こうやって楽しい時間をみんなで過ごせたのでとても嬉しかったです。



令和7年8月20日（水）

主な日程：移動日（羽田空港→ミュンヘン空港→ロ・ブ市）

執筆担当：切田 慶佳

いよいよ日本を旅立つ日です。国際線に乗るのは初めてだったので、初めてのフライトが14時間の長旅で少し不安でしたが、搭乗する時には楽しい気持ちになりました。私は飛行機の一番後ろの窓側の席に座りました。隣に座っていたドイツ人の女の子が、日本語で話しかけてくれてとても驚きました。会話をすることができてとても嬉しかったです。機内で眠れるかどうか不安でしたが、映画を見ているうちにしっかり眠ることができました。北極を通過していた時はとても寒かったのを今でも覚えています。

ドイツのミュンヘン空港に到着すると、ラウラとラウラの母、アントニアの父がウェルカムボードを持ってわたしたちを出迎えてくれました。わたしと暖花ちゃんはラウラが運転する車でロ・ブ市へと向かいました。道中、フライトの疲れで2人とも寝てしまいましたが、ホストマザーの声で起きると、窓の外には壮大な山々と透き通った湖が広がっていました。あまりの美しさに本当に驚きました。市役所に着くと、みんなのホストファミリーとブライテンヴァング市長が盛大に暖かく迎え入れてくれました。街の至る所に日本や奥州市の旗が掲げられていて、とても嬉しい気持ちでいっぱいでした。そしてこの日は、明日からはじまるたくさんのアクティビティにとってもわくわくしながら、ベッドに入るとすぐに寝てしまいました。



令和7年8月21日（木）

主な日程：プランゼー本社訪問、ハイライン 179、エーレンベルク城址

執筆担当：丹内 怜

移動日が終わってから最初の日、私たちはエーレンベルク城址とハイライン 179 を訪れました。ハイライン 179 はロイテ市の観光名所です。エーレンベルク城と、クラウドイア要塞を繋いでおり、長さ 406 メートル、高さ 114 メートルの世界最長の吊り橋です。山間部にあり、その日は横殴りの雨が吹き付けていたことも相まってとても怖かったです。かなり頑丈そうなワイヤーと金属に支えられていましたが、下が金網になっており車が玩具のように見えました。現地の方々はすいすいと進んでおり、怖がっているところを知らない気さくな方に笑われました。濡れながらも渡りきったことはいい思い出です。



令和7年8月22日（金）

主な日程：ノイシュヴァンシュタイン城、フュッセン、ボーリング

執筆担当：及川 千歳

今日は早朝からドイツにあるノイシュヴァンシュタイン城へ行った。お城に着くまでに1時間くらい急な坂道を登り、とても大変だった。ノイシュヴァンシュタイン城は今年の7月から世界遺産に登録されたらしく、またシンデレラ城の元となった歴史あるお城だそう。お城の外観、内装共に非常に美しく、特に内装の装飾品一つ一つの繊細なデザインや盛大に金を使った装飾が非常に煌びやかでいつまでも眺めていたいくらい綺麗だった。

次にドイツの街のフュッセンでお昼を食べ、街歩きをした。お昼は巨大なハンバーガーを食べた。頑張ったけど完食することはできなかった。街並みがカラフルで、お土産屋がたくさんあり、みんな家族や友人へのお土産を買っていた。集合時間ギリギリに食べたアイスが美味しかった。

夜にはみんなで集まってボーリングをした。お店の地下にボーリング場があり、ご飯を食べながらボーリングができるお店だった。1回でピンが全て回収されてしまうのでストライクを取るしかないというなかなか難しいルールで、みんな苦戦していた。みんながご飯を食べている時も、私と孝太郎、子供たちが何度もストライクに挑戦した。途中で私とローニャのお父さんが同時にストライクを取って、とてもいい思い出になった。最後にはみんなでボーリングをし、誰がストライクを取れるかと競争したのがとても楽しかった。



令和7年8月23日（土）

主な日程：ホストファミリーと過ごす日

執筆担当：小野寺 暖花

今日はそれぞれのホストファミリーと過ごす日でした。

まず朝食でパンとハム、チーズなどを食べてからドイツで1番高い山へ出発しました。ロープウェイで山に登りますが、山頂はとても寒いので、冬用の上着とニットの帽子を貸してくれました。夏に着ているのでなんだか変な感じがしました。その日は曇りで、山頂では雲しか見ることが出来ず残念でしたが、登っている途中で岩肌が近かったり、スタンプラリーを楽しんだり、あいにくの天気でも楽しむことが出来ました。

その次に、ドイツの街を散策しました。そこではお土産をたくさん買いました。そこで昼食も食べました。その後、エッタール修道院に行きました。外装はもちろん、内装の天井や壁の彫刻、色遣いにとても感動しました。見ることが出来て本当によかったです。次に、リンダーホーフ城に行きました。オーストリアに滞在している間、お城に行くことがたくさんありましたが、どれも違った良さがあるし、それぞれの歴史を知ることが出来てとても楽しかったです。

その後家に帰って、家の近くを散歩しました。夜の9時を過ぎていましたが、夜に散歩が出来るのはとても安全で治安がいい証拠だと思いました。自動販売機のようなものでホットココアを飲んだり、ゲームセンターのような所でクレーンゲームをしたりと、レオニーやラウラとの仲が深まったと思える1日でした。

夜に伝統衣装を着させてもらって、写真を撮りました。このような機会は滅多にないので貴重な経験をさせて頂いたホストファミリーに感謝の気持ちでいっぱいです！



令和7年8月24日（日）

主な日程：ホストファミリーと過ごす日

執筆担当：本宮 孝太郎

今日は朝から丹内さんのホストファミリーと合流し、合同で家の近くにあった湖へと赴きました。少し急な山道やトンネルを抜けると一面に湖が広がっており、天気の良い日も相まって水面がキラキラと輝いていました。水は冷たくて気持ちよく山や木々に囲まれる雄大な自然の景色に感動しました。お昼ごろになると車でハーネンカム山の麓まで移動し、そこからゴンドラに乗って山の中腹まで行きました。日本に居た時、登山は玄人向きで装備の面など難しそうな印象を持っていたが、実際にハーネンカム山を訪れてみると子供を連れた家族や犬を連れている人も多く、想像していたより比較的軽装でした。私たちはそこから40分ほど山を登ったり下ったりして山小屋レストランへ向かいました。

レストランのテラスでは地元の音楽隊が民族音楽(?)を演奏しており、アコーディオンや管楽器の演奏はやさしく楽しげで演奏後は拍手喝采を浴びていました。レストランではカイザーシュマーレンとアルムドゥードラーを頂きました。帰り道は来る時とは別の道を行き、再びゴンドラに乗ってホームステイしていた街並みを見渡しながら下山しました。

みんなで湖に行って泳いだり、山に登ったり、アクティブで楽しい一日を過ごせました。



令和7年8月25日（月）

主な日程：移動日（ロ・ブ市→インスブルック空港→ウィーン）

執筆担当：川下 真央

今日がホストファミリーとの最後の日だったので、少し慣れてきていた朝食がすごく寂しく感じました。5回目の朝食でしたが、ゆで卵を専用の台に乗せてスプーンで食べるという衝撃的な発見があり、同じものを食べるだけでもこんなに違いがあるのかと思ひ、面白かったです。

市役所に向かい、ホストファミリーとお別れの時間になりました。ホームステイをしている間、本当にお世話になったのでとても寂しかったし、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また来たいと思わせてくれるような素晴らしい場所、人の温かさでした。

その後インスブルックで街歩き、ショッピングをしました。インスブルックは歴史的な街並みとカラフルな建物、壮大な山並みが融合しており、個人的には一番好きなTHEヨーロッパな町でした。満喫した後、空港に向かい他のみんなはホストファミリーとお別れをして、二時間ほど空港でユウコさん家族と過ごしました。サクラとアンソニーは良い子達で、大好きになったのでお別れがすごく嫌でした。沢山オーストリアのことを教えてもらったので、私も日本のことをもっと伝えたいし、また絶対会いたいと思ひました。

短いフライトの後ウィーンに到着し、街並みを見ながらバスで移動、その後中華レストランに夕食を食べに行きました。久しぶりのお米がとてもおいしかったです。感動したり、興奮したり、寂しくなったり、感情がせわしない中身の濃い一日でした。



令和7年8月26日（火）

主な日程： ウィーン観光、在オーストリア日本国大使館表敬訪問

執筆担当：切田 慶佳

初めに、世界遺産に登録されているシェーンブルン宮殿を見に行きました。ガイドさんの説明を受けながら、その華やかな外装やお部屋の数々に圧倒されました。途中、神奈川から来た日本の高校生たちに出会いました。偶然同じような交流事業に参加した人たちと会うことができ、不思議とほっとした気持ちになりました。その後は、ウィーン市内を歩きながら歴史的な建造物をたくさん見ました。テレビや絵などでしか見たことのない彫刻や荘厳な建物を見て、「あのウィーンに来たんだ」とやっと実感が湧きました。お昼にシュニツェルを食べた後、制服に着替え、在オーストリア日本国大使館を訪問しました。警備が厳重でとてもおどろきました。大使館の役割についてや、わたしたちの質問についてもたくさん答えていただきました。訪問が終わると、待ちに待ったショッピング。お土産屋さんがたくさんあり、何をかうかとても悩んでしまって、女子チームは集合の時間に遅れてしまいました。道端で、男性2人組がヴァイオリンを弾いていたのも、さすが音楽の都ウィーンだなと思いました。夜は、みんなで食べる最後の食事でした。個人的に、ウィーンで食べたものの中で1番おいしかったです。この頃には既にみんなすっかり打ち解けて、夜はホテルで、昼に買ったケーキや持ってきた日本食などを食べながら、外が明るくなるまで喋っていました。このままずっとオーストリアに居たいと思いました。



令和7年8月27日（水）

主な日程：オーストリア出国

執筆担当：丹内 怜

ウィーン空港に到着し、いよいよ帰国が間近に迫り、寂しさと嬉しさが両立する難しい感情の中、離陸の準備をしました。荷物検査やチケット取得など、出国手続きを終えゲートをくぐった後は、中の売店でそれぞれ残された時間を過ごしました。日本では見られないような本格的なサンドイッチやチーズトーストが売っていて最後まで文化の違いを肌で感じる事が出来ました。お土産や軽食も買い終わり、遂に飛行機に搭乗し日本へと飛び立ちました。もう一生会えない人もいるかもしれないと思うと哀しい気持ちにもなりましたが、最後はしっかり英語で感謝を伝え、共に別れを惜しむことができたのでよかったです。出会った当初は意思疎通すらも難しかったのに、別れの時にはお互いの気持ちを共通の言葉を通して伝えられたことが個人的にもっとも嬉しく、来てよかったと思った大きな理由の一つとなりました。

成田空港に着いた時は疲労も凄かったのですが、なによりも湿度の高さに驚かされました。日本から1度も出たことがなかったので、じめじめしていると思ったことはありませんが、私たちの当たり前がこれほどまでに強烈なものだったとは思っていませんでした。交流を通してもっとも驚いたものの一つに違いありません。



令和7年8月28日（木）

主な日程：帰国、奥州市到着

執筆担当：及川 千歳

今日は成田空港から、水沢江刺駅に帰ってくる移動の日だった。成田空港から東京駅に向かい、東京駅でお弁当を買って水沢江刺駅に3時くらいに着いた。前日ウィーンを出発する朝から、日曜日の食事会でもらったTシャツと帽子をみんなを着てきた。大人の引率者も同じ服を着ていて、みんなで同じ格好をして移動していることがとても面白かった。東京駅で新幹線に乗る前にお弁当屋さんで私は鮭といくらのお弁当を買ったが、久しぶりのお米と日本食だったのでとても美味しく感じて、やはり日本食は安心する味だと思った。家に帰ったらお寿司を食べに行きたいと思った。スーツケースはお土産などで来た時よりもはるかに重くなっていて、さらに移動日なこともあり、みんなの顔が疲れていた。そのため新幹線の中ではみんなぐっすり眠っていた。水沢江刺駅に近づくにつれて、帰ってきた実感と寂しさを強く感じた。また、この10日が非常に充実して楽しい時間だったのであつという間に過ぎてしまい、テストや授業といった日常に戻りたくないと思ってしまった。今回の交流を通してたくさんの経験や気づきを得て、若いうちに海外に行ける機会は滅多にないのでこの事業に参加して本当によかったと思った。この経験をこれからの生活にも活かして行きたい。



派遣生感想文

交流事業を通して

前沢高等学校 3年 川下 真央

私は幼い頃から映画やテレビの影響で、海外の文化や言語に興味がありました。そのため、中学・高校生活を通して「留学に行きたい」「大学で英語を学びたい」という思いが心の中にありました。この事業に参加した理由は、目標ややりたいことを口に出すだけでなく、自らアクションを起こし、夢に近づきたいと思ったからです。

受け入れ初日はとても緊張してしまい、うまく英語が話せず、翻訳アプリに頼ってしまう場面もありました。話すことには自信がありませんでしたが、これまで一生懸命勉強してきたという自負もあり、モヤモヤした気持ちと「もっと話したい」という気持ちで胸がいっぱいでした。言語以上に悩んだのは、文化や価値観の違いです。たとえば、時間の感覚やお金に対する考え方が自分とは全く異なり、時間通りに来ないことにイライラしてしまうこともありました。しかし、それも異文化交流において大切な学びの一つであり、違いを受け入れる姿勢が大事だということに気づくことができました。

ユリアナと日本で過ごした中での一番の思い出は、仙台で一緒に書道と茶道を体験したことです。私も慣れるのに時間がかかったお抹茶をごくごく飲んでいて、おいしいと言ってくれたのでとてもびっくりしました。書道も「猫」や「愛」などの漢字を楽しそうに書いていて、私まで嬉しくなりました。

受け入れのプログラムが終わり、ほっとする間もなく、今度は自分が派遣される番になりました。ミュンヘン空港に着いたときは念願の海外に来られたという嬉しさと胸がいっぱいでした。オーストリアに来て最初に感じたことは、景色の違いです。アルプスの山々は日本の山とは比べものにならないほど大きく、ごつごつとしていて圧倒されました。また、ずっと憧れていたヨーロッパの歴史的な街並みが、車を走らせても果てしなく続いていることに感動しました。

初めてホストファミリーと会ったときはやはり緊張してうまく話せませんでしたが、夕食を通して全員と話せるようになり、ジョークを言われても対応できたことが嬉しかったです。ホストファミリーと過ごす中で一番思い出に残っているのは、ミュンヘンに観光に行ったことです。バスツアーに参加させてくれたり、マリエン広場やビアガーデンに連れて行ってくれたり、私がミュンヘンのことについて詳しく知れるようにプランを考えてくれたことが嬉しかったです。この日を通して、さらに家族との距離が縮まったように感じました。

8日間でロイテ・ブライテンヴァングのことはもちろん、ウィーンやインスブルック、フュッセン、ミュンヘンなどの様々な場所を見て、いろいろなことを感じ、学ぶことができました。それぞれの街にそれぞれの魅力がありましたが、どこへ行っても「Danke」「Bitte」という言葉が飛び交っていたのが印象的でした。この感謝の文化

は、日本でも大切にすべきだと感じ、私も意識して言葉にしていきたいと思いました。

ホームステイの経験を通して、自分の英語力がまだまだで、うまく伝えられず悔しい思いをすることも多くありましたが、「もっと話せるようになりたい」という強いモチベーションにもなりました。オーストリアで過ごした日々は、今までの人生の中で間違いなく一番濃く、充実した10日間でした。

この経験を糧に、将来の夢を現実のものにできるよう、これからも努力を続けていきたいと思います。

異文化交流で得た宝物

水沢高等学校 2年 切田 慶佳

私が今回の交換交流事業に参加したのは、将来「奥州市で小学校教師として、国際文化への理解を深める教育をしたい」という夢をもっと広げたいと思ったからです。そして幼い頃から親しんできた音楽を、「芸術の都」であるオーストリアで、実際に肌で感じてみたいと思い、参加することを決めました。

最初にホストフレンドのラウラを受け入れるにあたり、コミュニケーションが上手く取れるかどうかの不安や、ラウラが日本で暮らしていることに慣れることができるかの心配がありました。一日目が終わった頃にはすっかり楽しい気持ちでいっぱいでした。私は吹奏楽部の定期演奏会が重なっていたため、ほとんどのプログラムに参加することができませんでしたが、だからこそ、朝や夜にラウラと家族とゆっくり会話をした時間はとても思い出に残っています。父が英語を話せるので、ほとんど翻訳アプリは頼らずに英語でたくさん会話をすることができました。私の誕生日の朝には、「Happy birthday!」と言ってプレゼントまで用意してくれていたのがすごく嬉しかったです。定期演奏会の日にはみんなが聴きに来てくれて、夜は一緒に回転寿司に行きました。ラウラが小学生の妹をとて可愛がってくれたのも、心に残っています。あつという間にお別れの日が来てしまい、とても寂しかったですが、「またすぐに会いに行くね」と言って笑顔でお見送りをしました。

それから約1週間後、今度は私たちがオーストリアへ行く番がやってきました。初日は東京に泊まりました。早く寝る予定が、気づいたらみんなで部屋に集まって一晩中喋りました。お陰で翌朝はみんなグッタリでしたが、このおかげで仲がぐっと深まりました。14時間のフライトを終えて、やっとオーストリアに到着しました。あいにく天気にはあまり恵まれませんでした。想像よりもはるかに壮大で美しいチロルの大自然にとても感動しました。ホストファミリーはとても温かく、たくさん話しかけてくれました。「いただきます」や「かんぱい」など、日本語を積極的に使ってくれていたのもすごく嬉しかったです。話が上手く通じないときは、ジェスチャーや翻訳アプリでわかるまで伝えてくれました。現地でのプログラムは、観光スポットや世界遺産のお城、街中でショッピングなど、どれも楽しいものばかりでした。休日は、ホストファミリーと一緒にドイツで一番高い山に登ったり、サーカスを見たり、ジェットコースターのような乗り物にも乗りました。ロ・ブ市での滞在もあつという間に終わってしまい、インスブルックでホストファミリーとお別れをしました。わたしと一緒にホームステイした暖花さんと一緒に、ラウラと妹のレオニーに前日の夜に作った手作りのミサンガをプレゼントしました。お別れをするのは本当に辛くて、泣いてしまいました。「いつかまた会おうね」と約束をして、笑顔でウィーンへと向かいました。

今回の交換交流事業を通して、私はかけがえのない大切な人たちと出会うことができました。派遣生のみんなとこんなにも仲良くなれて、オーストリアのみんなやホストファミリー、市の方々や通訳さんなど、本当にたくさんの人に支えられて、充実した日々を送ることができ、毎日が忘れられない最高の思い出になりました。今回学んだたくさんのことを、これから夢を達成するために、そしてまた会うために、胸にしっかり刻んで頑張っていきたいと思いました。最後に、このような貴重な機会をいただき、携わって下さったすべての方々、本当にありがとうございました。

オーストリア交流を経て

水沢高等学校 2年 丹内 怜

まず最初に、オーストリアという遠く離れた国の人々との交流の機会を得ることが出来たこと、協力して下さった市役所、民間等全ての方々に感謝をしたいと思います。

さて、私は今回、日本とは全く異なる文化、生活習慣を持つ人々と生活を共にすることで、世界の多様性や自らとは異なる価値観を学び、自分自身を更に高めるためこの交流に参加させていただきました。全く日本語が通じない人々と関わりを持つのは今回が初めてで、かなりの緊張と不安でいっぱいだったのを覚えています。そして迎えた8月4日、水沢江刺駅での対面式。私の受け入れ担当はオーストリア人唯一の男性、ヴィンセントさん（来日時14歳）でした。ヴィンセントさんの容姿を見て、荷物を持ち、軽く挨拶を交わした時、1週間の生活でさえまならないのではと思いました。というのも彼はオーストリアでもかなり賢い人物らしく、知的好奇心が高く、日本についての様々な質問を最初から早い英語でぶつけられたからです。私は戸惑いながら、なんとか拙い英語で1週間強、会話を交わしました。彼と私は歴史や政治の話が好きで、生活を共にし、日を重ねる毎に社会的な話題の議論や意見交流もできるようになりました。日本での様々な体験も楽しんでくれていたようだったので良かったです。

オーストリア人を見送ってから1週間後、ついに私たちが行く番になりました。東京に前泊し、8月20日、羽田空港からミュンヘン空港へと向かいました。機内食にアップルシュトゥルーデル等現地でも口にすることになるオーストリアの伝統料理がいくつかあり、ここに来て初めて国の外へ出ているんだという実感が湧きました。現地の空港では奥州市に来ていただいた派遣生やその家族がオーストリア国旗をふりながら歓迎してくださいました。車でロイテ市に向かい、はじめてホストファミリーと対面した時には緊張が道中を通して一番高まり、なんの英語も出ませんでした。引きつった笑顔でこたえてしまったことを後悔しています。日本人一人で家の中で上手くやって行けるかが一番の懸念点で緊張の原因でした。ですが、そんな緊張は杞憂で終わりました。ホストファミリーはみんなとても優しく、私たちが帰るまで手厚いサポートをしてくださいました。ホストファミリーと共にでかけたドイツの街ではアイスクリームや飲み物、お土産のネックレスなどを、私が自分の分は自分で払うと言っているのにもかかわらず、彼らは私のためにお金を出し続けました。高いホスピタリティやコミュニケーション能力は、私よりも彼らに学ばなければならないと感じたものの一つです。帰国するまでに困ったことは沢山あったけれど、不満に感じたことは何もありませんでした。それはひとえにホストファミリーや現地の方々、引率の市役所職員のみなさんのご協力のおかげに他なりません。もう一度感謝を申し上げたいです。オーストリアで得た素晴らしい数々の経験を日本で社会のために活かして行けるよう、これからも、日々努力を重ね

ていきたいです。

交換交流事業を通して

水沢高等学校 2年 及川 千歳

私は今回の交流事業に観光ではない海外の家庭の実生活や、異国の文化を体験したいと思い参加しました。オーストリア派遣生との対面式の日、私は事前にメールなどで連絡を取っていましたが相手の顔がわからなかったので緊張する気持ちとワクワクする気持ちの両方を持ちながら水沢江刺駅に向かいました。対面式を終え派遣生のローニャと一緒に車で自宅に向かっているとき、彼女が私の想像以上に流暢に英語を話し、私がそれを聞き取れないことと、お互いの緊張から会話がスムーズに進まないことで困惑することが多々ありました。しかし、一緒にアニメを見たり、夕食にたこ焼きを作ったりと交流を深めていくことで少しずつ打ち解けていきお互い友達や家族の写真などを見せ合い、笑う機会が多くなりました。私が今回の受け入れで不安に感じていたことは「食」についてです。ローニャはベジタリアンだったので「何が好きなのか」「日本の食文化を気に入ってくれるだろうか」などと気にすることもありましたが、アボカドの手巻き寿司や野菜の天ぷらを気に入ってくれたり、基本的になんでも挑戦してくれる姿勢に不安もすぐになくなったし、とても嬉しく思いました。また、ローニャが日本の木や落ち葉の形に興味を持って写真を取っていたこと、コンビニが年中無休で24時間体制の営業していることに驚いていたのが面白かったです。受け入れ6日目には午前中に一緒に私の部活動に参加して午後は家族で一関の狛鼻溪に行き舟下り体験をしてきました。壮大で美しい自然につつまれながら川にいる魚や鴨に餌をあげたり、岩のくぼみに運玉という素焼きの玉をなげたのが楽しかったです。そして2日後の早朝に水沢江刺駅で、家族みんなでお見送りをしました。

次に派遣についてです。ドイツのミュンヘンから入国しましたが、移動中、車の中から見える街並みが日本とは違う美しさや魅力があり海外に来たという実感が湧きました。向こうの市役所に着いてからはホストファミリーの温かい出迎えがありローニャが日本の国旗が描かれている風船をくれました。2日目は世界で一番長いと言われるハイライン179という吊り橋に行き、お城の跡地を見て周り、夜はレストランで夕食を食べました。特に強風と雨の中、みんなで写真を撮ったり、楽しみながら渡る吊り橋が一番楽しかったです。食事は主食にポテトフライが出てくることが多く、味は美味しいのですが量が多くて食べ切るのに苦労しました。ほぼ毎日ポテトフライが出てきましたが飽きない美味しさでした。毎回これだけの量の食事をとっていたら欧米の人たちの体が大きいのに納得しました。また、私のホストファミリーは非常にアクティブと一緒にバレーをしたり、サイクリング、バイクの後ろに乗せてもらってのドライブ、日曜日にはロッククライミングと動くことが好きな私にとっては日本ではなかなか出来ない貴重な体験を数多くさせてもらいました。特にロッククライミングでは、始めのほうは怖く

てスイスイと登っていくローニャに驚愕し、ついていくのが精一杯でしたが、慣れてくるとだんだん楽しくなり、岩肌の暖かさや真下の川の冷気、澄んだ空気などを感じここでしか得られないような色々な発見がありました。

最後に今回の交流でオーストリアの生活、文化から、日本との違いや現地の人たちの温かさなど色々な発見や学びがありました。また自分から積極的に人とコミュニケーションを取り、関わることの大切さという自分自身の成長にも繋がりました。この事業に関わってくださったホストファミリーの方々や両市の市役所の方々、ほぼ全日に渡り私たちをガイドしてくれたゆうこさん親子、歓迎してくれた街の皆さんに心からの感謝と共にこのような機会を設けてくれてありがとうございました。

一生の思い出

水沢高等学校 2年 小野寺 暖花

私は以前から、海外における文化や暮らしについてとても興味を持っており、「芸術の都」と呼ばれるオーストリアはどんな国なのか、自分で感じたいと強く思い、このプロジェクトに参加しました。

私は英語力にあまり自信がなかったので、レオニーと初めて会う日はとても緊張していましたが、わくわくの気持ちが大きかったです。最初はなかなか話が弾みませんでした。日が経つにつれて少しのことでも気軽に質問などの会話ができるようになりました。私が英語を理解できなくても、ゆっくり言い直してくれたり、ジェスチャーや写真で伝えてくれたりと、優しさをとても感じました。

部活の定期演奏会やコンクールが同じ時期に重なり、バタバタしていたらすぐにオーストリアへ行く日がきました。14時間のフライトは初めてで、途中飽きそうでしたが、睡眠と映画と機内食で乗り切りました。

ミュンヘン空港に着き、ラウラたちが看板を持って歓迎してくれました。私と慶佳さんは一緒の家に滞在したので、他のみんなより不安は少なかったと思います。とても心強かったです。その夜、ラウラの運転で街をドライブしましたが、右車線を走ることに驚きました。車の窓から見える景色が、とても綺麗で大きい山の迫力や広大な草原に大自然を感じました。最初の2、3日は天気が優れず、雨や風の中、高い橋を渡ったりお城までの長い道のりを歩いたり、湖に足だけ入ってみたりしましたが、天気など関係なく本当に楽しかったです！後半、天気が回復してきて今まで雲で隠れていた山の全貌が見えた時は壮大さに本当に感動しました。奥州市にも山はありますが、オーストリアの山は岩肌が見えて、ゴツゴツしていて、とても迫力があります。また、オーストリアでの食事は、やはり日本とは違い、濃くて多くて、レストランで出る量を食べ切る事は難しかったです。やはり口に合うものと合わないものがありました。私はシュニッツェルが特に美味しかったです！薄味が恋しくなるのでインスタントのお味噌汁を持つといいと思います。オーストリアで、サーカスをみたり、大自然を堪能できるローラーコースターに乗ったり、ボーリングをしたり、初めてのこともたくさん経験しました。いろんなところに連れて行ってくれたホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです！あっという間に最終日で、オーストリアの友達とはいつも一緒にご飯を食べたり、いろんなところに行っていたので、もしかしたらもう会うことはないのかと思うと、寂しい気持ちでいっぱいでした。お別れの際、私はレオニーにミサンガをプレゼントしました。後から、ミサンガを腕につけた写真を送ってくれて、喜んでくれたようでとても嬉しかったです。

たくさんの出会いと共にお別れもありました。私が生きてきた中で一番、「一期一会」

という言葉を実感した期間でした。オーストリアの派遣生やホストファミリーとのたくさんの思い出は宝物です。このプロジェクトの参加を応援してくれた家族や、素晴らしい機会を下さった奥州市に感謝しています。ありがとうございました。

交流事業を通して得た経験

水沢高等学校 2年 本宮 孝太郎

私は将来的にドイツ語を学びたいと思っておりドイツ語が公用語であるオーストリアに興味があったことや、日本と海外の文化の違いを体感してみたいと思っていたことから、今回の事業に参加しました。

アントニアが水沢江刺駅に来た時、ちゃんと自分の英語が伝わるか、ホストファミリーとして責務を全うできるか、緊張と不安で色々なことを考えていました。ですが、実際に会って話してみると思っていたより相手の英語を聞き取れたし自分の言葉も伝わったのでほっとしました。アントニアは初日ホームシック気味で憂鬱そうだったけれど日が経つにつれ打ち解け、私たち家族にオーストリアでの写真を見せてくれて家族のことなど色々なことも話ってくれました。その中には見たことない料理や飼っている可愛い猫もいてオーストリアに行くのがより楽しみになりました。市の事業ではピザを作ったりショッピングに行ったりしました。友達や家族にたくさんお土産を買ったり自分の欲しかったものを買ったりできたようでとてもうれしそうでした。市の事業の日程が完了し各ホストファミリーで自由に過ごす日になったときには、最初に抱えていた自分の英語が伝わるかなんて悩みは吹き飛び会話を楽しめるようになりました。

そして約2週間が経ち、今度は私たちがオーストリアに行く番になりました。私は今回が初の海外渡航だったため、実際に海外へ行って色々な学びや驚きに出会いました。ドイツの空港に着いた時、最初に驚いたのはその涼しさです。日本はまだまだ猛暑が続いていたので湿度もなく涼しい気候は私にとってまさに天国でした。その日の夕ご飯では伝統的なスープとパン、ハムやチーズを食べました。むこうはパンが主食なだけあって種類が豊富で、ハムやチーズもいろいろな種類のものを味わうことができました。

翌日の朝、私は早く起きすぎてしまったので町へ散歩に出かけました。標高が高いため少し肌寒く霧がかっていましたが、ヨーロッパの建築物による街並みやポツポツと灯っている街灯が幻想的な雰囲気を醸し出していました。ふと見つけたパン屋さんの前で立ち止って見ていると、通りかかった男性が「もうパン屋さん空いているよ、ぜひ中に入れてみて」と声をかけてくれて、そのさりげない親切心に感動しました。日本では困っていそうな人がいても「誰かが助けるだろう」と思い、こちらから積極的に行動するような場面があまり多くないため、こういった積極的な親切心は大事だなと感じました。オーストリアではプランゼー本社を見学したり、世界遺産のノイシュヴァンシュタイン城を見たり、山に登ったりと近代的なものから伝統のあるもの、また自然を全身に感じられるものまでさまざまなことを経験しました。その約1週間という期間は瞬く間に過ぎ去ってしまいとても名残惜しかったです。

今回の交流を通していろいろな人や食、そして文化との出会いがあり、この経験は私

の人生のターニングポイントになったと思いました。実際に自分で味わったからこそわかる味や、実際に見てより感動したもの、実際に英語で会話をしてついた自信、国籍や言語の壁なんて関係のないやさしさ、その他もいろいろあり今回の事業で得たものの数は計り知れません。これからの人生はこの経験や思い出を糧に、なりたい自分になれるようにさらに成長していきたいと強く思いました。この事業に参加することができて本当に良かったです。ありがとうございました。

引率者報告書

(受入)

引率者報告書（受入）

作成者：政策企画部ふるさと交流課 ILC・多文化共生推進室 中村 俊貴

8月4日（月） 天候：晴れ	
08:00	ロ・ブ市派遣生羽田空港第3ターミナルに到着。
09:00	空港内で出迎え職員と無事に合流。 羽田空港駅からモノレール、JR 山手線を乗り継ぎ東京駅へ。
11:36	東京駅発、やまびこ 59 号で水沢江刺駅へ。
14:22	ロ・ブ市派遣生と引率職員が水沢江刺駅に到着。 改札出口で奥州市派遣生やホストファミリーからの歓迎を受ける。
14:30	南岩手交流プラザにてロ・ブ市派遣生とホストファミリーの対面式を行う。 その後、駅舎の外（西口）で記念撮影。 
水沢江刺駅にて	
15:15	ロ・ブ市派遣生は迎えにきたホストファミリーの車に乗り各家庭へと向かい、解散。
8月5日（火） 天候：晴れ／雨	
09:00	市役所1階ロビーに集合。（ロ・ブ市派遣生、奥州市派遣生）
09:05	ロ・ブ市派遣生に日本での滞在スケジュール等を説明。
09:30	市役所を出発。
10:00	プランゼージャパン株式会社岩手工場に到着。 小林工場長より企業概要や事業内容等についてご説明いただき、社員の方の案内で工場を見学した。その後、ロ・ブ市派遣生、奥州市派遣生、プランゼージャパン社員をミックスしたチームを3つ作り、チーム対抗クイズを楽しんだ。 
工場見学の途中で	

11:15	プランゼージャパン株式会社岩手工場を出発。
11:30	えさし藤原の郷に到着。レストハウスにて昼食をとる。 窓から見える庭にスペシャルゲストのニホンカモシカが登場し、ロ・ブ市派遣生達を楽しませていた。
12:30	昼食後は、1時間程度、買い物や園内散策（弓矢、鯉のエサやり、鎧の着付）を楽しんだ。
13:30	えさし藤原の郷を出発。
14:00	江刺愛宕地区センターに到着。ジュパースの会主催による市民交流会に参加した。 50名以上が参加し、ドイツ語による七夕の由来等の説明、七夕飾り作り、日本とオーストリアに関するクイズ、江刺甚句踊りを通じて交流を深めた。
	 <p>市民交流会に参加した皆さんと一緒に</p>
16:55	江刺愛宕地区センターを出発。
17:15	市役所に到着、解散。
8月6日（水） 天候：くもり／雨	
08:30	市役所1階ロビーに集合（ロ・ブ市派遣生、奥州市派遣生）
09:00	ロ・ブ市派遣生と奥州市派遣生は倉成市長と小野寺副市長を表敬訪問。 ロ・ブ両市長から預かってきた親書とお土産をロ・ブ市派遣から倉成市長へと手渡し、ローニャ・ミッターメアさんが手紙を読み上げた。次に倉成市長からロ・ブ市派遣生にお土産（南部鉄器の風鈴等）を渡した。
09:40	市役所を出発。
10:00	水沢農業高校に到着。水沢農業高校主催による生徒交流会に参加。 アイスブレイク、校内の農場見学、夏野菜の収穫体験、収穫した野菜を使ったピザ作り、スムージー作りを通して交流を深めた。
	 <p>自作のピザとスムージーをいただきます</p>

13:30	水沢農業高校を出発。
13:55	妙見山黒石寺に到着。
14:00	黒石寺では座禅を体験した。藤波大吾住職から英語と日本語で説明を受けた後、実際に 30 分程度座禅を行った。昼食を食べた後ということもあり、ゆったりとリラックスした時間を過ごした。座禅体験終了後は、国指定阿弥陀如来坐像を特別に見せていただいた。
16:00	黒石寺を出発。 ※奥州市派遣生は市役所へ戻り、解散。
16:40	農家民宿に到着（ロ・ブ市派遣生のみ） 衣川の農家民泊うまころにて農泊体験を行った。
8月7日（木） 天候：雨／くもり	
08:45	市役所1階ロビーに集合、出発。（奥州市派遣生）
09:20	うまころに到着。 農泊体験を終えたロ・ブ市派遣生と合流し、盛岡市へ出発。
10:30	盛岡市内のショッピングモールに到着。 ショッピングモール内で2時間程自由時間とした。両派遣生はいくつかのグループに分かれ、買い物等をして過ごした。
12:30	ショッピングモール内のフードコートにて昼食をとる。
14:15	ショッピングモールを出発。 ※盛岡市内を散策する予定であったが、土砂降りであったため急遽予定を変更し、盛岡駅で買い物することとした。
14:30	盛岡駅に到着。 両派遣生はいくつかのグループに分かれ、駅構内で買い物等を楽しんだ。
15:45	盛岡駅を出発。 このタイミングで天候が回復したため、市役所に戻る前に盛岡市内を散策することにした。
16:00	盛岡城跡公園に到着。 盛岡城跡公園、桜山神社、岩銀、紺屋町を駆け足で巡った。
	
	盛岡市内を散策
16:45	上ノ橋観光バス駐車場を出発。
17:55	市役所に到着、解散。

8月8日（金） 天候：晴れ／くもり	
09:00	市役所1階ロビーに集合、出発。（ロ・ブ市派遣生、奥州派遣生）
09:45	<p>中尊寺に到着。本堂、讃衡蔵、金色堂等の見学や、売店でお土産等を買う等して過ごした。</p>  <p>中尊寺にて</p>
11:10	中尊寺を出発。
12:30	道の駅高田松原に到着。
12:40	道の駅のフードコートで昼食をとる。
13:30	道の駅高田松原を出発。
13:40	<p>高田松原海水浴場に到着。 海水浴を楽しんだり、水上アスレチックで遊んだりして過ごした。</p>
16:00	高田松原海水浴場を出発。
17:30	市役所に到着、解散。
8月9日（土）	
終日	ロ・ブ市派遣生はそれぞれのホストファミリーと過ごした。
8月10日（日）	
終日	ロ・ブ市派遣生はそれぞれのホストファミリーと過ごした。
8月11日（月） 天候：くもり／雨	
07:45	<p>水沢江刺駅に集合。改札前で奥州市派遣生とホストファミリーとお別れ。</p>  <p>ホストファミリーとはここで別れ</p>

08:00	水沢江刺駅を出発、はやぶさ 104 号で東京駅へ。
10:14	東京駅に到着。 JR と私鉄を乗り継いで宿泊先ホテルの最寄り駅へ移動。
12:00	宿泊先ホテルに到着。 疲労と悪天候により予定より 1 時間程遅れての到着となった。 大きな荷物を預け、着替えをし、ホテルを出発。
13:00	東京駅に到着。 東京駅丸の内南口から改札外に出て、バスツアーの発着所近くのショッピングセンターに移動し、そこで昼食と買い物時間とした。 過去の事業でアントニアのお兄さんと交換交流をした奥州市派遣生と再会し懇談した。
14:30	東京視察 バスツアーにて、浅草寺と東京スカイツリーを見学。 バスツアー終了後は JR で渋谷に向かい、スクランブル交差点や買い物を楽しんだ。
21:00	JR 品川駅港南口のお店で夕食をとった。 お盆期間ということもあってか、どのお店も通常より閉店時間が早く、お店選びに苦労した。
21:50	ホテルに到着。 チェックインを済ませ、明日の集合時間等を伝え、解散。
8 月 12 日 (火) 天候 : くもり	
07:00	ホテルのロビーに集合。
07:20	ホテルを出発、シャトルバスにて羽田空港第 3 ターミナルへ。
07:30	羽田空港第 3 ターミナルに到着。 出国手続きを行うため 3 階に移動。ロ・ブ市派遣生達は事前にチェックインを済ませていたため、航空会社のカウンターで荷物の預け入れのみを行った。 ロ・ブ市派遣生から引率者に日本滞在中の感謝とお礼を伝えられる。
08:30	ロ・ブ市派遣生をセキュリティチェックゲートの前まで見送り、お別れした。 
今度はオーストリアで会いましょう	

引率者報告書

(派遣)

引率者報告書（派遣）

作成者：健康こども部健康増進課 佐藤 恵美香

財務部財政課 高橋 龍太郎

8月19日（火） 天候：晴れ	
12:15	水沢江刺駅集合。  出発前の様子
12:39	水沢江刺駅発、やまびこ 56 号に乗車し東京駅へ。
15:24	東京駅着。
15:48	東京駅発、JR 山手線に乗車し品川駅へ。
16:01	品川駅着。
16:28	品川駅発、京急線に乗車し大鳥居駅へ。
16:42	大鳥居駅着。ホテルまで移動。
17:00	宿泊先ホテルである変なホテル東京羽田に到着。
18:15	一旦ホテルを出て、全員で羽田空港へ向かい、チェックインカウンターの下見と、現地活動費の調達のため両替をする。
20:00	ホテル近くの飲食店にて夕食をとる。  みんなで夕食
21:00	夕食を終え、ホテルに戻り解散。
8月20日（水） 天候：晴れ	
05:30	ホテルにて朝食。
06:30	チェックアウトを済ませ、大鳥居駅まで移動。
06:56	大鳥居駅発、京急線に乗車し羽田第3ターミナル駅へ。

07:01	<p>羽田第3ターミナル到着。 チェックイン、荷物の預け入れ、セキュリティチェック、出国検査等を済ませ、搭乗開始時間まで自由行動とした。</p>  <p style="text-align: center;">出国前の搭乗ロビー</p>
10:00	<p>羽田空港発、ルフトハンザ航空 LH715 便にてミュンヘン空港へ。13 時間 30 分のフライト。</p>
16:30	<p>ここから現地時間。(日本時間からマイナス 7 時間) ミュンヘン空港着。 入国審査、荷物受取等を済ませ、空港内でホストファミリーのアントニア父、ラウラ母、オーストリア派遣生のラウラから出迎えを受ける。</p>   <p style="text-align: center;">迎えに来たホストファミリーと合流し、出迎えを受ける奥州市派遣生ら</p>
17:10	<p>ブライテンヴァング市のバスとホストファミリーの車にてブライテンヴァング市へ移動。</p>
19:50	<p>ブライテンヴァング市役所に到着。 ハンスペーター・ヴァグナー ブライテンヴァング市長、ロ・ブ両市の職員、ロ・ブ市派遣生とホストファミリーらの歓迎を受ける。</p>   <p style="text-align: center;">ブライテンヴァング市長等から歓迎を受ける</p>

8月21日(木) 天候:くもり時々雨

10:00 プライテンヴァング市役所集合。
現地在住の日本人通訳と合流。ホストファミリーの車に分乗し、プランゼー本社へ移動。

10:10 プランゼー本社到着。
世界のモリブデン製品の3/4のシェアを誇ることや、液晶ディスプレイ、レントゲンフィルム等身近な製品に加工されていること等説明を受けた。工場見学後は、プランゼー社の社員食堂にて昼食をとる。昼食後、集合写真を撮影し、プランゼー社へのお土産を奥州市派遣生から進呈した。



スタッフの説明を受ける



本社正面にて記念撮影

12:45 次の予定まで時間が空くため、プラン湖に行く組と、ミッターメア家で手作りのザッハトルテをいただく組に分かれて過ごす。



プラン湖で水遊び



ホストファミリー手作りの王道ザッハ

15:00 ハイライン 179 (世界一長い歩行者専用吊り橋) を渡る。



雨の中、みんな笑顔で渡り切りました

16:00	<p>エーレンベルク城址を散策。ゴンドラ乗車と徒歩で頂上まで向かう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>たくさん歩いて頂上へ</p> <p>頂上から市内を一望</p> </div>
19:00	<p>エーレンベルク城址内のレストラン(ザルツ・スタードル)にてホストファミリーらと夕食。</p>  <p style="text-align: center;">レストランにて</p>
21:00	夕食後、解散。
8月22日(金) 天候: くもり時々雨	
06:45	<p>ブライテンヴァング市役所集合。ブライテンヴァング市のバスとユリアナ父の車に分乗し、ドイツ・ノイシュヴァンシュタイン城へ向けて出発。</p>
07:30	<p>ノイシュヴァンシュタイン城駐車場到着。 ここから徒歩で城門までの坂を上り、見学開始時間まで城門前で待機。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>城までの長い登り坂です</p> <p>城門前にて</p> </div>

08:15	<p>ノイシュヴァンシュタイン城見学。今年の7月にユネスコ世界遺産に認定されたばかりとのこと。城内部を見学した後は城外の絶景スポットへ徒歩移動。</p>  <p style="text-align: center;">絶景スポットで城をバックに</p>
11:00	ノイシュヴァンシュタイン城出発。
11:10	ドイツ・フュッセン着。
11:30	<p>レストランで昼食。</p>   <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 大皿に盛られた一人前のサラダ 待ち時間に子供たちとゲーム </p>
13:00	<p>フュッセンの街歩き。集合時間まで自由行動とし、各々ショッピングなどして過ごした。</p>   <p style="text-align: center;">フュッセンのカラフルな街並み</p>
14:30	フュッセン出発、ロ・ブ市に戻り、次の予定まで各々ホストファミリーと過ごす。
19:00	<p>ボーリング場集合。</p> <p>ブライテンヴァング市役所に隣接する建物の地下がボーリング施設になっており、夕食を取りながら、みんなでボーリングを楽しんだ。</p> <p>こちらのボーリング球は日本より小ぶりで、指の通し穴の数が2つと少なくピンの並べ方も</p>

異なる。点数は自分たちで記録する方式のようだが、みな点数を気にせずストライクを狙って楽しんでた。



狙うはストライク



異国のボーリングを楽しみました

22:00 夕食とボーリングを終え、解散。

8月23日（土） 天候：くもり時々晴れ

終日 【ホストファミリーと過ごす日】
奥州市派遣生はそれぞれのホストファミリーと過ごす。



ホストファミリーと公園でバレーボール



ドイツ・リンダーホーフ城を見学

8月24日（日） 天候：晴れ

日中 【ホストファミリーと過ごす日】
奥州市派遣生はそれぞれのホストファミリーと過ごす。



ロッククライミングに初挑戦



ハーネンカム山の山小屋にて

18:30 ロイテ市内の学校に隣接した公園へ集合。マルクス・イルマー ロイテ市長代理、ロ・ブ市の関係者、ホストファミリーやロ・ブ市派遣生とともに記念撮影。



ロイテ市内の公園で記念撮影

19:00

ロ・ブ市主催の親睦パーティーに出席。

ロイテ市内のホテルにて開催され、ブライテンヴァング市長、ロイテ市長代理、ロ・ブ市の関係者、ホストファミリー、ロ・ブ市派遣生等が参加し交流を深めた。

ブライテンヴァング市長とロイテ市長代理から歓迎の挨拶があり、ロ・ブ市派遣生が日本滞在時の出来事をまとめた動画を視聴。

奥州市派遣生からロイテ市長及びブライテンヴァング市長宛の親書並びにお土産を進呈した。また、奥州市派遣生へ3市の市章入りTシャツ等お土産を頂戴した。メディアも出入りし、奥州市派遣生も取材を受けた。



ロ・ブ市派遣生による日本派遣報告



記念品と親書を手渡す奥州市派遣生



3市の市章入りTシャツとキャップ



地元TV局の取材を受ける奥州市派遣生

23:00

歓迎パーティー終了後、解散。

8月25日(月) 天候：晴れ

10:00 ブライテンヴァング市役所集合。ブライテンヴァング市のバスとホストファミリーの車に分乗しインスブルックに向けて出発。

11:50 インスブルック着。

12:00 市の塔内の148段の螺旋階段を登り、展望台からインスブルックの街並みを見学。高所が苦手な奥州市派遣生は、塔近くのロックカフェで休憩。



インスブルックの塔の螺旋階段から



休憩組はロックカフェへ

12:30 レストランで昼食

14:00 ホストファミリーやロ・ブ市派遣生の案内で市内を観光。黄金の小屋根の見学や、ショッピングを楽しむ。



地名の由来となった「イン川」の前で

15:40 インスブルック出発。

15:50 インスブルック空港着。ここでロ・ブ市派遣生、ホストファミリーとお別れ。



いつかまた会いましょう！

16:00	<p>チェックインと荷物の預け入れを済ませる。</p>  <p>チェックインを済ませ、展望デッキにて</p>
18:50	<p>インスブルック空港発、オーストリア航空 OS902 便にてウィーン空港へ。</p>
19:50	<p>ウィーン空港着。現地アシスタントと合流。</p>
20:20	<p>ウィーン空港発、専用車にてホテルへ移動。</p>
21:00	<p>宿泊先であるトレンドホテルアナナスに到着。現地アシスタントとチェックイン手続き。</p>
21:30	<p>ホテルを出て、夕食会場である中華レストランへ徒歩移動。</p>
21:45	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中華料理を堪能</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>店主のご厚意で久しぶりの白米も</p> </div> </div>
23:00	<p>ホテル着、解散。</p>
<p>8月26日（火） 天候：晴れ</p>	
09:00	<p>ホテル発、専用車にてシェーンブルン宮殿へ移動。</p>
09:30	<p>シェーンブルン宮殿着。観光ガイドの案内によりシェーンブルン宮殿内部を見学。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>シェーンブルン宮殿にて</p>

10:40	<p>ウィーン旧市街地散策。</p>  <p>旧皇居前にて</p>	 <p>石畳みの道を歩きました</p>
12:20	レストランカフェランドマンにて昼食。	
13:30	専用車にて一旦ホテルへ移動。	
14:00	ホテル着。大使館訪問のため、制服等に替える。	
14:30	ホテル発、専用車にて在オーストリア日本国大使館へ移動。	
14:55	在オーストリア日本国大使館着。セキュリティチェックを受ける。	
15:05	<p>在オーストリア日本国大使館を表敬訪問。 岩間特命全権大使、菅谷広報文化センター所長、鶴川広報文化センター所長にご対応いただいた。岩間大使から外務省入省の経緯や職務の説明があり、奥州市派遣生からはホームステイでの体験や気づきなどを報告した。その後の懇談では活発な質疑応答も行われた。</p>  <p>岩間大使(前列中央)、奥州市派遣生(後列)、引率者(前列)</p>	
16:20	<p>在オーストリア日本国大使館発、専用車にてウィーン市内へ移動。 ウィーン市街地にてショッピングや、シュテファン大聖堂等を見学。</p>	
18:00	地元のレストランで夕食。	
19:30	ホテル着、解散。	
8月27日(水) 天候: 晴れ		
09:30	ホテル発、現地アシスタントと共に専用車にてウィーン空港へ移動。	
10:00	ウィーン空港着。一部奥州市派遣生が免税手続きを行った後、チェックイン、荷物の預け入れ、セキュリティチェック、出国検査等を済ませ、搭乗時間まで自由行動とした。	
13:30	ウィーン空港発、オーストリア航空 OS51 便にて成田空港へ。約 12 時間のフライト。	

8月28日(木) 天候: 晴れ	
08:40	成田空港着。
10:45	成田空港発、成田エクスプレス 14号で東京駅へ移動。
11:44	東京駅着。
12:36	東京駅発、やまびこ 61号にて水沢江刺駅へ。
15:22	水沢江刺駅着、解散。



ロ・ブ市からのお土産を着用し登場



家族の出迎えを受ける奥州市派遣生たち

